

## RZ2 Z シリーズプロセッサ



PZ アンプを使う場合、電源を入れる前に使用するすべてのヘッドステージを接続しておいてください。下の4つのバンクの入力にヘッドステージが接続されていない場合、システムは 64ch モードで起動します。

この fast facts は RZ2 Z シリーズプロセッサおよび関連装置に関する基本的な情報を提供します。より詳細については TDT オンラインヘルプをご参照ください。注：RZ2 は DSP の数を 2、4、8 から指定できます。

### アナログ入力/出力

RZ システムは複数の異なるアナログ I/O に対応しています。様々なソースからのデータの取り込みには、RPvdsEX の RZ2\_Input\_MC マクロを使うと便利です。このマクロは各入力に自動的に適切なスケールファクター、変換、オフセットを適用します。回路のカスタムデザインについては TDT オンラインヘルプをご参照ください。

I/O	詳細	チャンネル
ポート D	アナログ入力	1 - 8
ポート E	アナログ出力	9 - 16
高速光ファイバーポート	PZ バイオアンプ入力	1 - 256
レガシーアンプ - A	メデューサアンプ入力	17 - 32
レガシーアンプ - B	メデューサアンプ入力	33 - 48



### LCD ディスプレイ

各 DSP、光 PC インタフェース、PZ プリアンプ、システムの I/O などの情報が LCD ディスプレイに表示されます。ダイヤルによりスクリーンのあるセクションを選択し、より詳細な情報を閲覧できます。ダイヤルを回して目的のセクションに合わせ、ダイヤルを押してインフォメーションビューを開きます。

対象	閲覧可能な情報
DSP	コンポーネントの使用率、メモリ使用率、パイプソースの情報
インタフェース	ファームウェアバージョン、送受信の MB データ量、転送エラー
アンプ	アンプモデル、チャンネル数、接続された PZ アンプのファームウェアバージョン
I/O	仮想インジケータライト デジタル I/O (バンク A、B、C 総計 24bit) 入力ビット、および出力ビットのロジックレベル時にライト点灯 アナログ I/O (バンク D: 8ch D/A 出力、バンク E: 8ch A/D 入力) ライトはシグナルレベルを指示 - シグナルがあると緑、レンジ外で赤 レガシーアンプ (メデューサプリアンプ) 用のライト アンプが接続されていないと点灯、接続アンプのパワー or レンジ外を指示

## RPvdsEx プログラミング時の重要な注意点

Z シリーズデバイスを使う場合は、以下の事柄に注意してください。

RZ2\_Input\_MC は'パイプライン'を使い、これはデータ転送に 1 サンプルのディレイが発生します。例えば、DSP 間でデータを受け渡すと RX デバイスは 1 サイクルのディレイですが、RZ デバイスは 2 サイクルのディレイとなります。

サンプリングレートは 6、12、25、50kHz をサポートしていますが、50kHz サンプリング時は 128ch となります。

- zHops の最大数が 256 から 128 になります。
- はじめの 128ch が有効になります。
- データパイプは最大 128ch になります。

## デジタル I/O

TTL I/O 回路は 24bit のプログラマブル I/O となっています。デジタル I/O ラインへは RZ2 フロントパネルの 25-pin コネクタからアクセスできます。8bit の bit addressable I/O と 8bit の byte addressable I/O はフロントパネルの BNC からアクセス可能です。

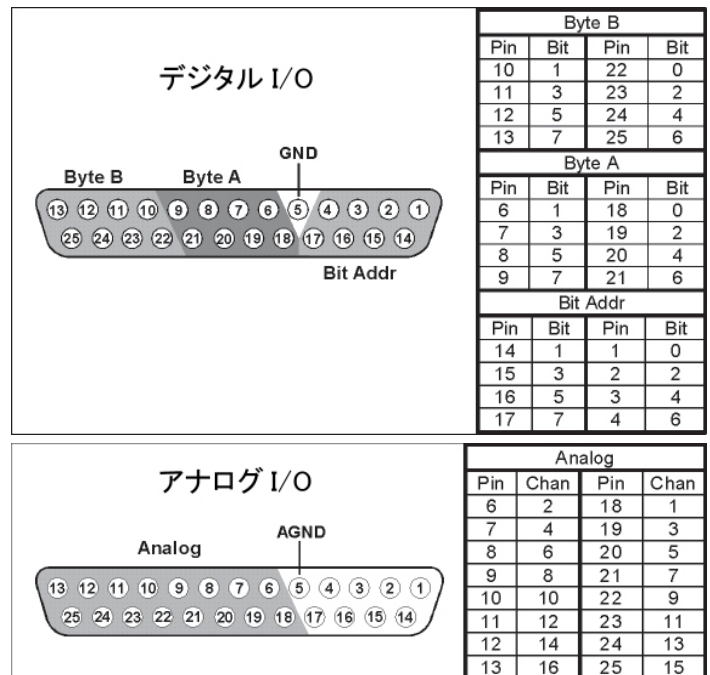
ポート A: ビット 0 - 7 (byte addressable)

ポート C: ビット 0 - 7 (bit addressable)

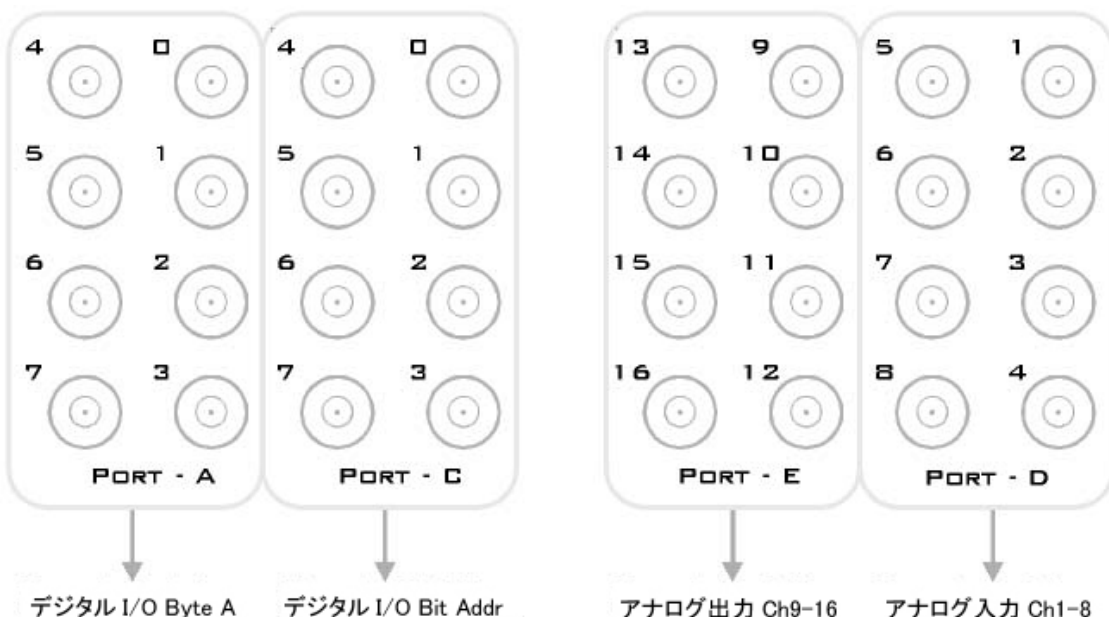
デジタル I/O の構成は RPvdsEx の RZ2\_Control マクロで割り当てられ、回路コントロールによりダイナミックな制御が可能です。



## Dsub25 ピン I/O コネクタピンアサイン



## BNC コネクタのマッピング



## バイオリサーチセンター株式会社

本社: 名古屋市東区泉 2 丁目 28 番 24 号 ヨコタビル 4F

TEL 052-932-6421 FAX 052-932-6755 mail: sales@brck.co.jp